

校長通信

尾花沢を背負って立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

輝け！シン尾花沢中

ゆくてののぞみ 語りつつ 自律をめざす わが学園

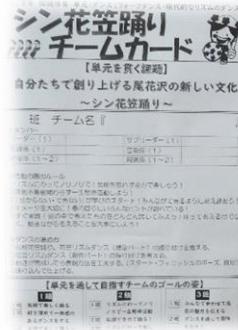
第114号
令和7年
10月28日

2年生「シン花笠踊り」～自分たちで創り上げる尾花沢の新しい文化～

第104号～108号で、3年生の「おばね学」地域貢献活動を紹介させていただきました。

実は、2年生も保健体育の「ダンス」の授業で、地域の宝である「花笠踊り」に新たな価値を見いだす活動を行ってきましたので、紹介します。

授業では、「自慢できる」「誇らしい」「広めたい」「大切にしたい」「町おこしにしたい」「伝統がつながっていていい」といった「花笠踊り」への生徒の思いを大切にしつつ、伝統的な「花笠踊り」と現代的な「リズムダンス」の融合をテーマに、シン花笠踊りの創造を目指してきました。



この授業を担当した竹村先生は、次のように説明してくださいました。

- ①地域文化の魅力や価値を再発見し、新たな文化へ昇華させる力
- ②郷土愛や地域への誇りを深め、自分たちの活動を地域に発信し、貢献する力
- ③自他の特徴や課題を分析し、よりよい表現方法を見出し、自分の考えを他者に伝える力

の3つの力をこの教育活動を通してつけてほしいと願っています。外部講師から教えてもらったステップを習得すると授業以外の場面でも踊るなど、ダンスの楽しさに気づき始めた生徒が増えています。また、自分の考えを堂々と伝えたり、温かい関わり合いの場面も見られたりと前向きな変容を感じています。生徒からは、「ダンスが楽しい」、「たくさんのダンスを知ることができてうれしい」、「ダンスを通していろいろな人と話せるようになった」など、うれしい言葉が耳に入ります。

今後は、幼稚園・保育園や老人ホーム等での出前発表会、県外の中学校への映像配信により、地域貢献を目指す予定です。

【文責：校長 工藤雅史】